

討 論

議案第17号について

反対（石川和久議員）

給水区域の拡張に伴う条例改正については、当初、日向台地区の専用水道が撤退することが主な理由と思われる説明であったが、今定例会では、九十九里地域の末端統合に備えることが主の目的であるとの説明があり、混乱が生じた。統合を見据えて行うべきものであるならば、日向台地区の水道加入についてしっかりと整理し、改めて説明し、審議に臨む必要がある。

賛成（深沢誠議員）

広域的な九十九里地域末端給水事業体との統合に向けた計画策定のため、市水道事業の区域を確定しておかなければ、将来的に必要な水道使用量等の試算もできない。今後の安定供給のため、事業が見込まれる区域を広げておく必要がある。

議案第18号について

反対（石川和久議員）

旧山武町水道事業の創設期間に給水申し込み加入金の減免を実施したことから、均衡を図るため、給水区域を新たに拡張した地域の給水加入金を減免することだが、市内では水道事業体が違う地域もあり、公平性の観点からも、市全体の均衡を考慮し、慎重に行うべきである。

賛成（戸村勝敏議員）

給水区域を広げた区域における給水申込加入金の2分の1の補助については、水道事業開始当初、加入促進を図るため減免を実施した経緯があり、同様に措置することが必要である。

常任委員会審査報告

市議会には、総務・文教厚生・経済建設の3つの常任委員会が設置されています。

常任委員会では、本会議で審査を付託された議案等について、専門的に審査を行い、採決した結果を本会議に報告します。

総務常任委員会

（3月1日開催）

議案第2号、議案第3号、議案第13号から議案第15号、議案第20号、議案第22号の一部、議案第23号（原案可決）
陳情第1号（継続審査）

*委員会質疑要約

消防団員の定員について

問≫ 消防団員の定員を875名から840名に減員することだが、この定数で活動に問題はないか。

答≫

ポンプ自動車の部の定員、小型動力ポンプの部の定員、本部団員、女性消防団員数を積み上げ設定しました。実情に合わせた人数にすることが、適正であると考えます。

文教厚生常任委員会

（3月2日開催）

議案第4号から議案第10号、議案第12号、議案第16号、議案第22号の一部、議案第24号（原案可決）

*委員会質疑要約

要介護・要支援認定者数について

問≫ 高齢化率の上昇に伴う、要介護・要支援認定者数の推移について伺います。

答≫

本市における高齢化率は、令和元年度は34・1%、令和2年度は35・2%です。要介護・要支援認定者数は、令和元年度は2708人、令和2年度は2741人です。

経済建設常任委員会

（3月3日開催）

議案第11号、議案第19号、議案第25号、議案第26号（原案可決）

議案第17号、議案第18号（原案否決）

請願第1号（不採択）

*委員会質疑要約

給水区域の拡張について

問≫ 拡張予定の給水区域に含まれる日向台地区は、現在、太平洋興発(株)が専用水道の事業者である。同社と住民が協議した上で、市の給水区域に組み入れるべきだと思いがどうか伺います。

答≫

広域の九十九里末端給水事業体の統合に備えるため、令和3年度から、九十九里地域末端給水事業体統合形態別基本計画の素案を策定しますが、この計画に日向台等の地域を加えなければ、水道使用量等の正しい試算ができません。区域が拡張されても日向台の専用水道は継続でき、住民と充分協議していきたいと考えています。